

平成 20 年度環境・安全技術系講習会

はじめに

今年度の環境・安全技術系の講習会は以下のように、開催した。

開催日時：平成 20 年 9 月 24 日（水）13:30～14:30

講師：岡田 嘉寿雄 環境技術班班長

熊沢 正幸 安全技術班班長

1．災害対策室を利用した防災教育（岡田 嘉寿雄 班長）

東海地震、東南海地震、あるいは猿投 高浜断層を起因とする直下型地震等の大災害に対応する大学としての取り組みの中で、技術職員の果たす役割は少なくないと思われる。被害を低減する方策を考えると共に、発生後の対応についても考えておかなければならないだろう。

イ．災害対策室の活動目的

名古屋大学災害対策室は、東海地域と学内の防災力向上のために活動する組織である。災害時には名古屋大学の情報収集・発信拠点となるが、平常時には研究会・ワークショップ等のスペースとして誰でも活用できる。

ロ．防災教育に役立つ展示物・催し

『展示スペース』には、防災をやさしく学ぶためのさまざまな展示物がある。特に二軸振動台は一名搭乗可能な水平 2 軸の電動振動台で、可動範囲は上軸 ± 150 cm、下軸 ± 50 cm、最大加速度は 2 G まで稼働でき景色や室内の映像をスクリーンに映写することでリアルな振動体験ができる。

また災害・防災についての資料を集めた『災害アーカイブ』や、災害・防災について詳しく知ることのできる『名古屋大学防災アカデミー』の開催など、さまざまな行事も企画している。

最後に、名古屋大学災害対策室を利用することで対策の手始めになれば幸いである。

2．省エネルギーの実施と現状の課題（熊沢 正幸 班長）

低炭素化社会環境に向けた近年の関連法規制として、省エネルギー法・地球温暖化対策の推進に関する法律が大学の研究にもおおきな影響を与えつつあり、規則順守を進めるための知識習得の機会として開催された。

報告内容として、1) 他大学の計画推進計画の紹介、2) 工学部での省エネ事例として、クリーンルームの省電力化、循環冷却水の省電力化等の紹介を行った。

また今後に向けての問題点として、電力需要の増加状況、省エネ資金計画等について、名古屋大学の現状紹介を行った。法令順守への厳しさを認知して頂く機会になったと思う。